
葦の家後援会たより

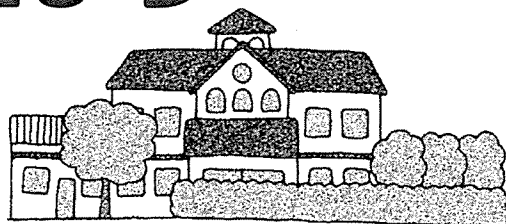
発行 葦の家後援会 発行日 2013.11.5

〒814-0153 福岡市城南区樋井川 4-1-17

Tel・Fax 092-866-4842

E-mail asinoie@blue.ocn.ne.jp

HP <http://www3.ocn.ne.jp/~asinoie/>



「わはは祭り」は大賑わい

～たっぷり用意した整理券も配り切りました～

葦の家後援会長 坂本良二

秋の深まりを感じる頃となりました。皆様お変わりなくお過ごしでしょうか？

この秋は、日本各地を次々と襲う台風の影響で、甚大な被害にあわれた方もたくさんいらっしゃるようです。心よりお見舞い申し上げます。

さて、そんな中、台風の間を縫うように開催されました葦の家の「わはは祭」、当日は幸いにも上天気にも恵まれ、たくさんおいでいただいたお客様、そしてたくさんのボランティアの方々のご協力をいただき大成功で終わることが出来ました。おかげさまで、後援会で受け持ちました日用品バザーのコーナーも、早い時間から整理券待ちの行列ができてたくさんの方々にお買い上げいただき、心配しておりました当初の売り上げ予想よりもずっと大きな数字をはじき出すことができました。これで、後援会といたしましても寄付金として施設の改修に役立てそうでほっとしているところです。

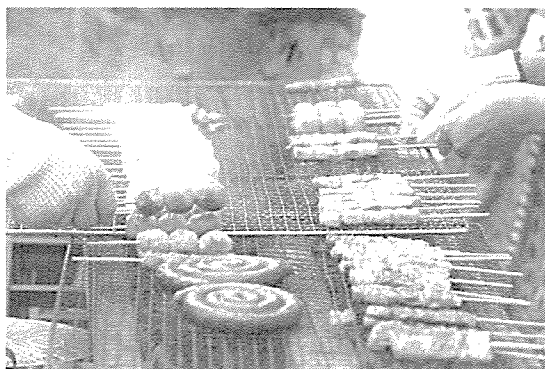
ここに至るまでに、たくさんお寄せいただいたバザー用品、それを回収に回っていただいた方々、値付けに協力いただいた方々、山のような商品の運搬・陳列に汗を流していただいた方々、販売や会場整理そして片付けにご協力いただいた方々など、数え切れないくらいの方々の力のおかげで、正味2～3時間の販売での50万円近くの収益という大きな結果につながっていったのだと思います。あらためて、私たちはすごいことをやっているのだなあと感心してしまいます。皆様、本当にご協力ありがとうございました。

ところで、当日は「り-ど」の見学も並行して行なわれましたが、こちらの方にもたくさんの方々においでいただきました。皆様方からの関心も非常に高いようで、くつろいでいただけるようにとコーヒーも用意しておりましたが、ふるまいとお買い上げを合わせて計188杯が見学者ののどを潤したようです。中には、おかわりをしながら、ゆっくりと見学してくださった方もあったようです。約150名以上のご入場があり、それぞれに地域で暮らしケアホームで暮らしていくということの具体的なイメージを持っていただけたのではおもっているところです。

後援会では、今後もさらに継続して展開されるであろう葦の家の事業に対して、仲間たちの暮らしをよりよいものにするための取り組みをすすめてまいります。皆様方のご協力を今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

わはは祭り 2013 売上合計 559,090 円でした！

後援会では、当日は日用品大バザーと焼き鳥コーナーを担当しました。
売上は、バザーが 476,630 円（陶器市 8,800 円）、焼き鳥が 73,660 円でした。
わはは祭りでは合計 559,090 円の収益が出ました！！準備や当日の売場を担当して
いただいた後援会員の皆さん、お買い上げいただいた方々、後援会スタッフにお声掛け
いただいた方、ありがとうございました。
（詳細は「わはは祭り特集号」をご覧ください）



↑ 焼き鳥コーナーで焼き場をがんばりました！



↓ 日用品バザー会場もにぎわいました



冬季物品販売のお知らせ

夏の物販が終わり、冬季物販の季節がやってまいりました。さて、前回のたよりでもお伝えした通り、今年一年間は「ケアホームすてっぷ」の運営資金として法人に寄付することを目的に取り組んでいます。6月開所し、7月から体験利用もできるようになり、地域の障がい者なども受け入れるようになりました。仲間と職員が日々生活する中で、いろいろとハプニングも起きます。仲間と一緒に新しい職員も成長していったほしいと思います。

販路も広げていこうと思いますので、会員の皆様でお知り合いの方や近所の方々にもご案内していただけると嬉しいです。

後援会では、「りーど」の建設に向けて、以下の重点的な取り組みを行なっています。会員一人ひとりの力が束になって「りーど(葦の束)」の完成をめざしましょう！

みなさんのご協力をお願いします！

障がい者地域生活支援センター「りーど」

オープンし半年がたちました。

今年の夏は酷暑となりましたが、りーど通信の記事にありますように、1階の各在宅事業と2階ホームの利用者、職員ともに何とか無事に夏を乗り切ることができました。ケアホームすてっぷでは、6名の仲間に加え7月からは、日替わりの体験居室の利用が始まりました。スタッフ体制は重度障害者等包括支援事業や特例居宅介護サービスの適用を受け、夜勤男女2名、日勤1名、朝夕食の調理各1名、夕勤の非常勤1名に加え、ホームヘルパー、施設職員の応援を得るなどしています。他に、献立を作る囑託の栄養士、お一人に週1回訪問看護サービスが入っています。3名の方は週末に帰省し、3名はホームで過ごしていますがお盆休みには全員帰省されました。仲間、職員ともに少しずつホームの生活に慣れてきましたが課題も出てきています。最も大きいのは健康、医療問題です。利用者全員が日常的に何らかの医療サービスが必要な方々です。日常のバイタルチェックや服薬管理、定期通院に加え、歯科治療やてんかん発作、転倒による通院、風邪や扁桃炎、胃痛等々毎週のように通院や病院との連絡を取っています。他にも先月からは訪問理容サービスの利用も始めました。また、役割やお風呂の順番、職員への要望などで、仲間たち同志や職員に対する不満の声も上がってきました。共同生活なので、仲間の会議を設け話し合いで解決する努力をしています。スタッフは15時から翌11時までの夜勤を月9回行うなどハードな勤務ですが、昼間作業や活動で頑張った仲間たちが、ホームではくつろいで過ごし、少しでも気持ちを受け止めることができるよう努力しています。

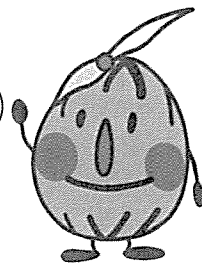
★重度障害者等包括支援事業について★

障害程度区分6で医療的ケアが常時必要な方や行動障害の激しい方を対象に、生活介護、居宅介護、行動援護等をサービス提供責任者が週間プランで組み合わせ、柔軟に提供する国のサービスです。すてっぷでは3名の方に提供していますが、現在、全国で32～34人目、福岡県では初めてという希少な形態です。通常のケアホームの制度では夜間に1名の職員、朝、夕刻に調理スタッフと支援員2名体制です。これでは、1人の方の介護をすると他の利用者の食事や排せつ介助が全くできなくなります。同性介助の原則からも、夜間異性の方の排せつや入浴介助ができません。男女ともに利用でき、最低限の介護を行うために、既存のケアホームの制度に加えて、ホームヘルプサービスの利用を1人あたり月最低75時間以上（朝夕合わせ日に2.5時間）の提供を福岡市に求めましたが月40時間の上限になりました。その代わりに、他の自治体の3倍の月120万単位相当の支給量の重度障害者等包括支援事業を福岡市から提示され実施しました。

木曜日や日曜日の休日の余暇支援、調理、清掃のボランティアを募集しています！

詳しくは、「すてっぷ」までどうぞ

→092-834-3365



会員未更新の方、新規ご加入について

会員が年々減少しております。会員の継続更新がお済でない方は、更新のお手続きをお願いいたします。また、周囲の方々の新規ご加入にもご協力ください。

以上のお問い合わせは、092（866）4842 葦の家後援会事務局まで

季節の花



「金木犀」

四国の瀬戸内沿岸の地方ではこの花の香りとともに「祭り」がやってくる。

小さなこの花のように無数の提灯が揺れ、そこに「今日だけは」と故郷を目指して帰省してくる人々の群れ。記憶の中に染み付いた香りにつられて。

切り絵 青木 昭憲